

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで
す。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはな
さらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださ
います。

(コリントの信徒への手紙 — 10章 13節)

大学入試が迫ってくると「神様は乗り越えられない試練は与えないというのは本当
ですか」と度々質問されます。生徒の皆さんにとって最大の試練はやはり受験です
ね。確かに、聖書には、神様は「耐えられないような試練に遭わせることはな
さらず」とあります。世間的にもこの言葉が一人歩きしてしまい、その後
に続く大切な言葉を忘れがちです。

試練を前にして、それを乗り越えるか諦めるかの二者択一の思考に陥ることで、私
たちは既に負けています。なぜなら、乗り越えられない場合は「失敗」であり、実
質的に乗り越えるという選択肢しか選びようがなく、試練を提示した人の望む答
えしか返せないからです。

しかし、聖書には続きがあります。「それに耐えられるよう、逃れる道をも備
えていてくださいます」。実は、どのような試練も必ず越えなければなら
ない訳ではなく、越えられなければ失敗ということでもありません。試練を逃
れる道が用意されているのです。

逃れる道というとネガティブなイメージですが、第3の道と言い換えるとどう
でしょうか。選択肢を提示する者の考えていない第3の道を見つけ、発題者の
予想を超えることができれば、それは失敗でも負けでもありません。

この、第3の（オルタナティブな）道を見つける能力こそが、現代社会を生き
抜き、多様な問題や対立を解決するために必要な能力です。気候変動、資源
の枯渇、経済格差、人種差別、性差別、障害者差別、排外主義、戦争など
など、今人類が直面している問題は多岐にわたります。どのような問題であ
っても、私たちは「あれかこれか」の選択を迫られます。敵か味方か、右か
左か、白か黒か、男か女か、勝ちか負けか、攻撃か防御か。このような、
他人が強制する狭い選択肢に閉じ込められることこそが本当の負けである
ことを知らなければ、誰かの言いなりになる人生を歩まなければなりません。

他人から与えられた情報と選択肢に閉じ込められることなく、自ら学び、考
え、進む道を（選ぶのではなく）見つけられるようになること。それこそが
勉強であり成長だと思います。

自分の人生を生きるために、共に学んで行きましょう。